

名張警察署協議会議事録

令和6年度第3回名張警察署協議会	
日 時 場 所	令和6年12月20日（金）午後1時30分～午後5時 視 察 場 所：伊賀広域防災拠点 協議会会場：名張警察署3階大会議室
出 席 者	1 警察署協議会 7名 伊集基之委員、上迫直生委員、 グエン ティ バン トゥオン委員、田川敦子委員、 富山玲子委員、布村進委員、山口伴尚委員 2 警察署 10名 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、 地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、警備係長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
1 視察 (1) 伊賀地域防災拠点 (2) 警察航空隊ヘリコプター 2 警察署協議会会長挨拶 3 警察署長挨拶 4 特定抗争指定暴力団に係る警戒区域指定の延長について（警察署長） 5 「令和7年三重県警察運営の重点」について（警察署長） 6 管内治安情勢等説明（警察署長） (1) 警察安全相談受理状況 (2) 刑法犯等認知状況 (3) 特殊詐欺等発生状況 (4) 人身安全関連事案受理状況 (5) 行方不明者届受理状況 (6) 交通事故発生状況 7 警察における災害救助活動について（警備係長） 能登半島地震で派遣された署員による災害救助活動に関する説明 8 協議内容 (1) 横断歩道の設置場所について <委員> 名張市内の信号機が設置されていない交差点では、対向車線に右折待ちの車両がある場合、車両で視野が遮断され、その後方にある横断歩道を渡る歩行者が見えづらくなる所がある。横断歩道の位置を変えることはできないか。 【交通課長】 横断歩道は道路環境に応じて設置され、また、地域住民の利便性も考慮されている。直ちに設置場所を変更することは困難であるが、道路環境等を確認するとともに、ドライバーに対し、安全運転に関する啓発を推進する。 (2) 災害警備活動について	

＜委員＞ 能登半島地震の被災地において、住民の安否確認はどのように行っていたのか。

【警備係長】 区長や自治会長が地域住民の状況を把握していたため、それらの情報を基に安否確認を行った。

＜委員＞ 市民の防災意識が低いと感じているが、どのように高めていくべきと考えているか。

【警備課長】 講演や地元情報誌を活用するなどした広報活動を進めるとともに、県や市町、消防と連携した防災訓練を反復継続するなどして、防災意識の向上を図っていく。

＜委員＞ これまで災害への準備は満足に行っていなかったが、災害警備に関する説明を受け、備蓄品の準備など、対策をしなければならなかったと思った。

＜委員＞ 自治体や警察に頼るのではなく、住民間で意識を高め、災害対策を進める必要があると感じた。

9 警察署長挨拶

備

考